

刻む会 たより

NO. 69

2018 年 7 月 5 日

長生炭鉱の水非常を歴史に刻む会

共同代表

井上洋子・木村道江

事務局 宇部市常盤町一―九（宇部緑橋教会内）
カンパ振込先 ゆうちよ銀行 口座番号 01590・7・32405

TEL 0836（21）8003

年会費 《正会員》個人3,000円 団体5,000円
《賛助会員》個人1,000円 団体2,000円

ホームページ <http://www.chouseitankou.com>

メール kizamukai@chouseitankou.com

韓国仏教界の影響力を目の当たりにして

共同代表 井上 洋子

「韓国仏教宗団協議会」から「燃灯祭」にご招待を受け、「刻む会」を代表して私と小畑事務局長が5月10日から4泊5日ソウルの旅に行ってきた。お釈迦様の生誕を祝うこの「燃灯祭」は、韓国ではクリスマスと並んで祝日に指定されており、韓国仏教界をあげて全国のお寺で1年間をかけ準備される程の盛大な国民的行事でした。

中国、台湾、モンゴル、カナダなど10か国の国を代表する僧侶の方々と同様のおもてなしを受け、宗教とは縁遠い私には驚きと戸惑いの方がいささか大きかったです。「協議会」事務局からは「刻む会」の活動を尊敬しているので日本代表としてご招待させて頂きましたと聞き、日本人としての

当然の行いに賞賛の言葉を頂いて恐縮するばかりでした。

しかし、この機会を最大限に活かすことが大事と思い、11日に開催された歓迎「午餐会」では、場違いかとは承知しながらも「長生炭鉱水没事故」のお話も紹介させて頂きました。

12日は韓国仏教界を代表する「曹溪寺」（チョグサ）で、韓国仏教指導者表敬訪問があり、韓国ではおいそれと拝顔できないという曹溪宗総務院長とのお目通りもかきました。曹溪宗だけで1万2千人もの僧侶、公式だけでも1800の寺院を有しているといいます。

その後15時から曹溪宗が運営している「東



国大学」グラウンドで公式行事が20年ぶりの大雨の中で挙行されました。



各国代表と共に「刻む会」も紹介されて、壇上でお釈迦様へのお水やりをさせて頂いて、何万人もの集会参加者に大画面テレビで紹介されました。その後全国から集まって来られた信徒の皆さまと絢爛豪華な提灯行列に出発しましたが、その様子は韓国仏教専門チャンネルで同時中継されていたようです。キリスト教の礼拝を着て行進した小畑牧師は、観覧していた仏教徒から怪訝な（？）視線を感じたようです（笑）。その日夜のKBS放送ではトップニュースで祭の様子が報道されました。

「韓国仏教宗団協議会」は2015年夏に「韓・日・中」の持ち回り交流集会を広島で開催し、「韓国人被爆者」の慰霊を行ったそうです。その際に「長生炭鉱水没事故」について駐広島総領事より紹介され、2016年の追悼式に各宗派を代表した高僧の方々50名余が参列されて犠牲者に追悼を捧げてくれました。その時のご遺族の方々の感動ぶりを今頃になって知ることになりました。

「燃灯祭」に先立って、朝鮮半島の統一を祈願するために1972年に建立された「臨津閣」(イムジンカク)に観光で訪れることができました。南北の軍事境界線から7キロの地点にあり、民間人が自由に北朝鮮に最も近づける場所、そこには「自由の橋」がありました。朝鮮戦争で壊されたそうです。偶然その橋を渡って北から逃げて来たというハラボシとご家族に会いお話を少しだけ伺うことができました。朝鮮半島に統一の春が訪れ、この橋も再び繋がる時が近いと思いました。

今回の招待は身に余る光栄でしたが、韓国仏教界の持つ偉大な力を実感させていただき、また「協議会」の皆さまが、どうしたら「長生炭鉱水



没事故」の犠牲者の遺骨返還が実現できるのか、真剣に考えて下さっていることを夜の交流会を通じて知る事ができました。韓国大統領の任期は政治の腐敗を防ぐために5年と法律で決められているので、ムン・ジェイン大統領の任期中に長生炭鉱水没事故遺骨問題の解決を韓国政府に訴えた方がいいとの助言もいただき、今後の運動に活かしていきたいと心から思いました。「協議会」の皆さま、ソウルでお会いした遺族会の皆さまの歓待に心から感謝申し上げ、スピード感を持った運動の前進にまい進していきたいと思えます。



宇部市職員の現地研修会報告

運営委員 横山 潤

5月22日(火)午前10時より、約90分の所要時間で開催されました。五名の宇部市職員が参加され、「刻む会」メンバーは、井上洋子共同代表、小畑太作事務局長、私の3名でした。

宇部市との「長生炭鉱水没事故問題解決協議会」は2010年8月にはじまり(翌年には宇部市長とも面談をしたそうです)、次回7月の協議会で40回を数えるのですが、宇部市職員の方々に、追悼集会以外の、研修として現場に来て頂くのは初めてのことであり、大切な機会となりました。

まず「追悼ひろば」で、井上共同代表、小畑事務局長が、配付資料に基づきつつ、長生炭鉱水非常の歴史経緯や、追悼碑建立に至る取り組み、ひろばの掲示物(作業時の写真等)の説明、遺骨収集への取り組み等について話されました。

その後海岸に移動し、ピーヤを臨んでの説明の後、献花の時を共に持ちました。市職員の方々に、実際に海岸でピーヤの前に立つ中で、犠牲者、ご遺族へ思いをめぐらせて頂く機会になったことと思います。

資料に掲載された、取り壊されて現存し

帰郷を願い131体の朝鮮人法要式

長崎県対馬・杵岐市で海難事故の遺骨

運営委員 金静媛

日本の植民地支配下で渡日した朝鮮人は解放後、いち早く帰ろうと「闇船」等で故郷に向かった。しかし玄界灘での海難事故（1945年9月10日の台風）で遭難し、131体の朝鮮人の遺骨が、様々な経緯により厚生労働省の管理の下、埼玉県の所沢市の金乗院から、当初安置されていた杵岐市の天徳寺が再度、受け入れ帰郷まで供養することになった。

「大韓民国人芦辺港遭難者御遺骨安座法要式典」が5月31日、天徳寺にて行なわれた。「刻む会」からは井上洋子共同代表、内岡貞雄顧問と共に3人で参列した。

式では厚生労働省援護局事業課課長補佐が挨拶し「1976年に杵岐付近で地元の人や市民団体が86体を収集し、83年から84年に同省が45体を収集した」などと経緯を話した。

白川博一市長は「168人が遭難された。本来ならば祖国に行けるはずが不幸にも台風で亡くなられ、痛恨の極みです。」

韓国の仏国寺の僧侶は韓国式の読経を捧げ「軍人の遺骨は返還されたが、民間人は未だかありません。一日も早く故国に帰るよう切に協力をお願いします」と訴えた。

式典には全国から「遺骨奉還宗教者市民連絡会」のメンバーや、市民、韓国の市民らが訪れ、一日も早い祖国への遺骨奉還を願い供養を捧げた。

慰霊碑前で法要

杵岐市内の海岸付近には1967年に地元有志により慰霊碑が建立された。その後、一年ごとに交互に韓国と日本で合同の供養式が行なわれてきた。式典開始前、内岡顧問と碑を訪ねた。偶然にも韓国の僧侶達と出会い読経中、犠牲者に手を合わせることが出来た。

式典で西谷徳道住職（天徳寺）は「大きな間違いがあった。遺骨が旧三菱重工広島機械製作所の徴用工のものという誤った認定がなされたこともあったのに、その誤りを公表しなかった事。真相が曖昧で返還が遅くなった。遺骨は本来ご遺族に帰さねばならない。一日も早く、日本政府を通じて韓国の地へお帰し下さい。」と強調した。その言葉が重く心に響いた。



法要の様子



杵岐市内の海岸付近にある慰霊碑

ない「捲揚機」の画像を見て、「私が子どもの頃にはまだありましたよ」と言われる職員もおられました。

現地での、何気ない会話もあつての意見交換には、協議会とはまた異なった「臨場感」があったことと思います。「問題解決の進捗」という面では、様々に難しいところも確かにあるのですが、今回、現地研修が初めて実現したように、「宇部市との協働の可能性は、実は様々にひらかれているのだなあ」と、改めて感じた次第です。



韓国・富川(フチョン)の中学生との交流会

2016年に続いて、今回も韓国・富川(フチョン)から22人の中学生が5月4～8日 **2018年5月4～6日**の日程で来日し、阿川、貴和の里、長生の3つのグループに分かれて活動しました。

長生グループとして11人(中学生8人、スタッフ3名)を受け入れました。日本人の子ども達との交流を目的に5つのプログラムを用意し、宇部市内の中学校へ案内のチラシを配布したところ、19人(申し込み20名)の中学生の参加がありました。予想以上の反響に嬉しい悲鳴！また今回は、宿泊場所として浄土真宗本願寺派の西法寺さんをご厚意で使っていただくこととなり、素晴らしい交流ができました。

プログラム①

はじめましての会(緑橋教会にて)

みんな
ドキドキ！
ワクワク！

プログラム②

新川子どもまつり
グループ毎にまつりを散策！



グループに分かれて自己紹介、リーダー決め、夕食のメニューと段取りを話し合いました。
みんなめっちゃくちゃ緊張！

一人1000円分のお小遣いをリーダーが管理。
みんなで相談しながら買うものを決めました。



プログラム③

長生炭鉱フィールドワーク



日本側で参加した中学生のほとんどが長生炭鉱について知らない子たちでした。

韓国・プチョンの子ども達は勉強してきているので、温度差はあったはずですが、この負の歴史を現地で一緒に学ぶことを通して、お互いを理解するきっかけとなりました。

プチョンの子ども達は、5月7日(月)には阿川と貴和の里のグループも一緒に防府から下関に向かう途中、追悼ひろばを訪問し、献花をしました。

その後、下関の朝鮮学校を訪問し、学校の子ども達と交流しました。



今年1月19日、追悼ひろばの碑文の下に6枚の絵画を設置しました。この絵を描いてくれたのは、現在京都在住のチェ・ダヘさんです(写真)。

チェ・ダヘさんはプチョン出身で、今回は通訳として長生炭鉱グループに参加してくださいました。

紙芝居と朗読劇の「アボジは海の底」を読み、この絵を作成して下さったのですが、6枚の絵に登場する人物の数は合計すると犠牲者の数になるとのこと。

彼女の思いが詰まった作品です。

ぜひ一度、追悼ひろばを訪れて絵を眺めてみてください。

プログラム④

夕食・宿泊交流！（西法寺にて）



メモをみて相談しながら一緒に買い出し



運転手をしてくださった山本さんによる南京玉簾実演！

～夕食メニュー～

- ・とんかつ
- ・しょうがやき
- ・ポテトサラダ
- ・トン汁
- ・チヂミ
- ・キムチチャーハン



日韓の子ども達で協力して作りました！どれもおいしかったよ！

参加した日本の中学生の感想

初めはドキドキしていたけど、チームや交流などでだんだんと話せるようになって、うれしかったです。来年も韓国に行ったら、友達をいっぱい作りたい。

来年は、私たちが韓国に行って交流したい♡ 帰りたい♡ 楽しかった♡

初めて出会った韓国の子どもと日本の中学生とも仲良くなれた。外国から来た子と、新川まつりに行ったり、料理を作ったり、普段ではできないことをたくさん経験しました。とてもいい経験になったと思います。

5/6 の朝は西法寺さんに法話していただき、お弁当を持って、電車で防府まで。

プログラム⑤

全体交流会

5/6 13:00～15:00

開催場所 日本基督教団・防府教会

終了後、現地解散



活動日誌

※太字：詳細は記事にて紹介

- 2018年
- ▽3月26日(月) 宇部市議会議員との懇談会
- ▽3月28日(水) 山口朝鮮初中級学校補助金カットに対する知事・教育庁への質問に関する協議及び座談会
- ▽4月7日(土) 真相究明ネットワーク事務局会議(神戸)参加
- ▽4月11日(水) 山口朝鮮初中級学校補助金カットに対する抗議座り込み行動及び座談会
- ▽4月17日(火) 第39回長生炭鉱水没事故問題解決協議会
- ▽4月19日(木) 第1回運営委員会
- ▽4月29日(日) 臨時運営委員会(第2回)
- ▽5月4日(金) プチヨンの中学生との交流会(長生グループ)
- ▽5月7日(月) プチヨンの中学生(全体)FW
- ▽5月9日(水) 山口朝鮮初中級学校補助金カットに対する抗議座り込み行動及び座談会
- ▽5月10日(木) 韓国仏教宗団協議会主催「燃灯祭」(韓国)参加
- ▽5月17日(木) 医療生協健文会「平和フェスタ2018」実行委員会
- ▽5月20日(日) 阿含宗による長生炭鉱追悼集会
- ▽5月22日(火) 宇部市役所FW
- ▽5月24日(木) 第3回運営委員会
- ▽5月25日(金) 韓国の昌原一行FW
- ▽5月26日(土) 第5回定期総会
- ▽5月27日(日) 「明治日本の産業革命遺産」と強制労働映像版上映及び新版DVD「アボジは海の底」試写会
- ▽5月27日(日) 無窮花友好親善の会総会(飯塚)参加
- ▽5月30日(水) 遺骨連絡会奉還宗教者市民連絡会懇親会(博多)参加
- ▽5月31日(木) 老岐・対馬避難朝鮮人遺骨の老岐天徳寺への移管法要(老岐)参加
- ▽6月12日(木) 第4回運営委員会
- ▽6月13日(水) 山口朝鮮初中級学校補助金カットに対する抗議座り込み行動及び座談会
- ▽6月20日(水) 山口県知事への申し入れ
- ▽6月21日(木) 荒川憲幸市議による宇部市議会での一般質問
- ▽6月21日(木) 医療生協健文会「平和フェスタ2018」実行委員会
- ▽6月23日(土) 「明治日本の産業革命遺産」と強制労働 長崎集会(長崎)参加

運営委員会報告（2018年3月19日～2018年6月25日）

事務局長 小畑 太作

【委員会会議開催】

2017年度	3月23日（金）	欠席2名。
第12回		
2018年度	4月19日（日）	欠席1名。
第1回	4月29日（日）	欠席2名。
第2回（臨時）	5月24日（木）	欠席2名。
第3回	6月12日（火）	欠席3名。
第4回		

【追悼ひろば】

1. パンフレット設置の検討実施。
2. 井戸水ポンプの修理検討実施。
3. 垣根の剪定検討実施。
4. 絵画展示の壁面剥離修繕実施。
5. 壁面空きスペースへの写真資料展示検討。

【遺骨等収集】

1. 国政府との交渉のため遺族との連携調整。
2. 山口県政に取り組みのための協力要請を申し入れ実施。
3. データベースを引き続き拡充中。

【学習会等】

1. B・Y・P・チヨンの子ども達との交流会
FW受入 5/5（土）、5/7（月） 約50名。
2. 韓国の昌原一行FW 5/25（金）29名。
3. 夏の学習会（医療生協健文会「平和フェスタ2018」に合流）7/29（日）検討。
平和フェスタ2018実行委員会に委員を派遣。

【証言・関係資料収集発刊】

1. 過去の炭鉱内居住者1名の聴き取り再実

施。

2. 映像と紙資料のデジタル化の作業継続。
3. 韓国出版『角が出た海』の日本語版出版作業継続。
4. 紙芝居「アボジは海の底」のオリジナル映像化を実施継続。
5. （仮称）フィールドワークノートとオプシヨンプログラムについて継続検討。

【行政交渉】

1. 宇部市当局との第39回協議会開催
4/17（火）「宇部市総合福祉会館」
2. 宇部市当局との第40回協議会開催検討
7/13（金）「宇部市総合福祉会館」
(1) ピーヤの説明板設置 市長の議会答弁を受け一部修正か全面改定かを協議。
(2) ピーヤ等の保存 相変わらず所有者と経費を理由に宇部市政は指定に難色。
(3) 追悼集会への協力 山口県政へ要請実施。
(4) 市民への教育 進捗なし。
(5) 遺骨等の収集と返還 国政府との協議について共有。協力関係を模索。
(6) 追悼碑への協力 進捗なし。
3. 山口県当局に年度替わって改めて申し入れ実施6/20（水）。①遺骨収集について、国政府の取り組みについて課題の整理と実施のための立案。②遺族の遺伝子情報収集について立法措置も含めて検討・協力。
③追悼集会への参加・挨拶・代表献花、遺族会との会食、検討。④ピーヤの保存について協力。
4. 県議会議員との懇談会 上記申入れ後に開催。戸倉多香子議員（国民民主党市民フオーラム）が質問の方向。

5. 市議会議員との懇談会 3/26（月）開催。6/20（水）荒川憲幸議員（共産党）が議会にて質問。
6. 国政府への申し入れ準備。遺族同行他。

【山口朝鮮初中級学校への助成金停止問題】

1. 朝鮮学校を支援する山口県ネットワークの加盟団体として、県知事（原則毎月第2水曜日）と下関市長（原則毎月第4火曜日）への要請行動に参加。
2. ネットワークのHPと会計を引き続き担当。
3. 宇部市人権施策推進審議会に要望書提出。

【他団体との連携】

1. 韓国仏教宗団協議会「燃灯祭」5/12（土）招待に委員2名を派遣。
2. 無窮花友好親善の会総会5/27（日）に顧問を派遣。
3. 吉岐・対馬遭難朝鮮人遺骨の吉岐天徳寺への移管5/31（木）に委員他を派遣。
4. 「明治日本の産業革命遺産」と強制労働長崎集会6/23（土）～24（日）に委員を派遣。
5. 2018年度定期総会の企画検討。

【その他】

1. 定期総会準備実施。
2. 運営委員他選任検討。
3. ホームページの検討。
4. 会報誌『刻む会たより』発行準備。



【一般会計】

	科 目	年度予算	期間実績	実績累計	率	備考
歳入						
1	会費	400,000	14,000	518,000	129.5%	
2	寄付金	1,000,000	63,100	987,554	98.8%	※
3	物販	40,000	0	41,300	103.3%	
	証言・資料集	20,000	0	39,300	196.5%	
	その他	20,000	0	2,000	10.0%	
4	雑収入	5,000	0	3,740	74.8%	
5	前期繰越金	0	0	0		
6	特別会計より繰入	0	0	0		
	合 計	1,445,000	77,100	1,550,594	107.3%	

歳出						
1	事務費	60,000	2,807	53,610	89.4%	
2	広報費	220,000	49,206	187,771	85.4%	たより印刷送料
3	会議費	30,000	0	30,000	100.0%	
4	追悼碑管理費	10,000	723	5,505	55.1%	電気代
5	活動費	750,000	5,832	820,663	109.4%	
	学習会等	70,000	0	49,126	70.2%	
	追悼集会	500,000	0	605,385	121.1%	
	その他活動	180,000	5,832	166,152	92.3%	
6	他団体会費等	40,000	5,000	43,000	107.5%	強制動員真相究明ネットワーク
7	雑支出	35,000	2,710	25,594	73.1%	
	手数料	25,000	2,710	19,212	76.8%	
	その他	10,000	0	6,382	63.8%	弔電他
8	予備費	50,000				
9	特別会計へ繰出	250,000	384,451	384,451	153.8%	遺骨収集特別会計へ
	小 計	1,445,000	450,729	1,550,594	107.3%	
10	繰越金	0	-373,629	0		
	合 計	1,445,000	77,100	1,550,594	107.3%	

※ 寄付者（敬称略）

猪股健太郎 呉 世 憲 杵渕 智子 木村 道江 京田 一美 坂内 義子 白川 猶子
鈴木 忠実 高橋 信 武永 佳子 田中 豊
大阪同和・人権問題企業連絡会 森田ホールディングス第二グループ 国平寺
日朝協会山口県支部 （その他匿名4名）

【追悼碑特別会計】

収入			支出		
科目	金額	備考	科目	金額	備考
繰越金	1,632,116				
繰入金	0		繰越金	1,632,116	
合 計	1,632,116		合 計	1,632,116	

【遺骨収集等特別会計】

収入			支出		
科目	金額	備考	科目	金額	備考
繰越金	1,598,534				
繰入金	384,451		繰越金	1,982,985	
合 計	1,982,985		合 計	1,982,985	

以上感謝をもってご報告いたします。引き続きのご支援をお願い申し上げます。

強制動員真相究明ネットワーク主催

「明治産業革命遺産」と強制労働—6・23 長崎集会及び

6・24 フィールドワーク報告

井上洋子共同代表と山内弘恵書記が参加しました。

6・23 集会

裴東録さんから、心の底から湧き上がる怒りのアピール！



100 名を超す参加者で熱い集会となりました。



6・24 フィールドワーク

岡まさはる記念館を見学後、三菱兵器住吉トンネル工場跡→爆心地付近→平和公園



三菱兵器住吉トンネル工場跡
このトンネルの上には現在道路やマンションが立ち並び。



爆心地付近にある朝鮮人原爆被爆者追悼碑(上)と外国人戦争犠牲者追悼碑(下)



集会で報告があった平和公園内にある「浦上刑務所支所」跡(左上)。当時、中国人・朝鮮人の政治犯が収容されていた。逃亡させないための高い壁があり、今も一部が残っている。中国から贈られてきたモニュメント(左下)に赤いペンキが塗られたことがあったらしい。



—世界遺産にふさわしい「普遍的価値」のために知らなければならないこと— 日韓市民による世界遺産ガイドブック

「明治日本の産業革命遺産」と強制労働

2015 年 7 月、「軍艦島」(露島)や三井三池炭鉱、八幡製鉄所、長崎造船所など太平洋戦争中に数多くの朝鮮人のみならず中国人、連合軍捕虜などが強制労働を強いられた施設を含む「明治日本の産業革命遺産」が「西洋から非西洋への産業化の移転が成功したことを証言する」「顕著な普遍的価値」を持つ産業遺産としてユネスコの世界遺産に登録されました。これは「富国強兵」「殖産興業」のスローガンのもと、朝鮮半島の植民地化、中国大陸での利権拡大をめざしてアジア侵略へ突き進んだ日本の「明治の近代化」を賛美するものでした。これに対し韓国政府は「国際平和と人類の共通の福祉」を目的とするユネスコの精神に反するとして登録に反対をしましたが、日本政府が「強制労働」の事実を説明するための措置を実施することで登録が認められました。しかし今年 12 月がユネスコへの報告期限であったにも関わらず日本政府は、いまだに約束を果たしていません。そこで、日韓の市民が共同でガイドブックを作成しました。真の歴史を知るためにぜひともご購読ください。



目次	
はじめに	2
1 「明治日本の産業革命遺産」の概念と特徴	5
2 「明治日本の産業革命遺産」の価値	6
3 日本の産業革命遺産の形成と発展	9
4 九洲地域の産業遺産施設における実証的検討	12
5 「明治日本の産業革命遺産」の歴史—開港期、殖産期、強制労働	16
6 アジア侵略と「明治日本の産業革命遺産」の近代化	18
7 植民地朝鮮からの強制労働	20
8 アジア太平洋戦争中における中国人と連合軍捕虜の強制労働	24
9 近代日本の産業革命遺産—開港期、殖産期、強制労働	29
10 八幡製鉄所・住吉トンネルの発展と建設	30
11 三菱長崎造船所・長崎・軍艦島の発展と発展	42
12 長崎・長崎造船所、三菱長崎の「日本」の「日本」	52
13 三池炭鉱、長崎造船所と建設した三井三池炭鉱の歴史	64
14 世界遺産としての明治日本の産業革命遺産	75
15 世界遺産としての強制労働	76
16 本邦及び海外各地、強制労働被害者の権利	79
17 世界遺産の歴史と記憶—被害者のための活動	81
資料	86

まだ持っていない方はぜひ！
「刻む会」事務局にも在庫があります！

ブックレットの申込み 1部500円(送料込)

ただし 10部以上まとめて購入の場合1部400円(送料無料)

下記郵便振替口座への入金確認後の発送になります。

送金先：[郵便振替口座] 00930-9-297182 真相究明ネット

問合せ先 神戸学生青年センター 078-851-2760 携帯 090-8482-9725 (中田)

「刻む会」の定期総会終了後にこの日韓市民による世界遺産ガイドブック「明治日本の産業革命遺産」と強制労働・映像版を上映しました。(新版 DVD『アボジは海の底』試写も行いました。)

総会報告

第5回(2018年度)定期総会が5月26日、宇部緑橋教会にて開催されました。
正会員数100名(2018年5月20日現在)のところ、実出席16名、委任状出席36名、計出席52名の出席によって、議長・島敏史、書記・山内弘恵の下、活動報告・会計報告、会計監査報告、活動方針・予算案、規約一部改正案及び役員について審議が行われました。
結果、全ての議案が満場一致で承認され、左記のとおり役職を選任しました。

運営委員

- ① 共同代表 井上洋子 木村道江
- ② 書記 山内弘恵
- ③ 事務局長 小畑太作
- ④ その他運営委員

顧問

金静媛 佐々木明美 徐鶴奎 原よしえ
藤本一規 宮本輝男 横山潤

議事録署名人

内岡貞夫 島敏史

会計監査委員

高田穰 時田洋輔
木村和彦 真鍋みどり

※内岡貞雄さんはこれまで関門海峡を越えて会議やフィールドワークのため来てくださっていました。が、移動が長距離であることもあり、継続が難しくなりました。本総会にて共同代表から顧問に移行されました。それに伴い、規約変更も行いました。

なお、議案書をご覧になりたい方は、事務局までご連絡ください。

たより同封物

- ・夏の学習会
チラシ
- ・振替用紙
- ・映画『蒼のシンフォニー』上映会
チラシ